



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

東・福

上場会社名 イフジ産業株式会社

上場取引所

コード番号 2924

URL <https://www.ifuji.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 宗徳

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 原 敬

(TEL) 092-938-4561

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	24,762	34.6	2,172	△9.0	2,199	△9.7	1,519	△8.1
2025年3月期第3四半期	18,394	△5.7	2,388	45.7	2,434	45.0	1,652	12.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,530百万円(△7.2%) 2025年3月期第3四半期 1,649百万円(10.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	186.55	—
2025年3月期第3四半期	199.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	20,121	12,131	60.3
2025年3月期	16,749	11,161	66.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 12,131百万円 2025年3月期 11,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	26.00	—	40.00	66.00
2026年3月期	—	32.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	35.00	67.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	30,661	20.0	2,689	△10.3	2,679	△12.1	1,827	△13.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	8,345,370株	2025年3月期	8,345,370株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	195,698株	2025年3月期	209,251株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	8,144,142株	2025年3月期3Q	8,273,668株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業が賃上げに努めてはいるものの、賃金の上昇を上回る物価の上昇による手取りの減少、また、人口減少とそれに伴う労働力不足等により、景気の先行きには注視が必要な状況にあります。

食品業界におきましては、人員を確保することに伴う人件費の高騰や、内外価格差と円安による原材料価格の高騰及び運送費をはじめとした様々な経費の上昇により、商品価格の値上げが続いております。

当社グループといたしましては、持続的成長と競争力向上のために、中期的な成長戦略として、液卵事業において、2030年度の液卵の販売数量8万トン、業界でのシェア20%を目標に、製品の供給能力の増大のため全ての工場において積極的な設備投資を進めております。さらに、人的資本経営の強化のために、次世代を担う人材の採用の促進、高い職務能力を持った多様な人材の育成、継続的なベースアップや健康経営優良法人の取得を始めとした従業員エンゲージメントの向上等を行っております。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、前年同期比34.6%増の24,762百万円となりました。

損益につきましては、連結営業利益は同9.0%減の2,172百万円、連結経常利益は同9.7%減の2,199百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、同8.1%減の1,519百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①液卵事業

当セグメントにおける主要な関係会社は、イフジ産業株式会社であります。

鶏卵業界では、2020年以降、毎年のように大規模な鳥インフルエンザが発生しており、鶏卵は慢性的に供給が不足しております。この状況は、鳥インフルエンザの発生リスクが低減されない限り今後も継続していくものと考えております。当第3四半期連結累計期間におきましても、2025年10月から鳥インフルエンザが全国で多発している影響により鶏卵の供給不足が続いており、鶏卵相場が高値で推移しております。

当セグメントの主要な製品は、「食の半導体」である液卵であり、製品及び原料の数量全体の約8割について販売単価及び仕入単価が鶏卵相場に連動しております。そのため、販売単価と仕入単価の差益を一定額以上確保し、販売数量の確保に努めることで、利益の最大化を図っております。

事業規模を示す指標である液卵販売数量につきましては、前年同期比3.2%増となり第3四半期連結累計期間としては過去最高となりました。これは主に、東日本を中心に鶏卵が不足したことにより他の液卵メーカーが液卵の供給を制限する事例が一部見られ、これに伴って鶏卵の調達力及び液卵の供給力に強みを持つ当社への注文が増加し、主に外食向け、総菜向けの液卵販売数量が増加したこと等によるものであります。

売上高につきましては、前述のとおり液卵販売数量が過去最高になったことや鶏卵相場に連動して液卵の販売単価が高値で推移したこと、また、得意先への液卵の安定供給のための原料調達コスト上昇に対応すべく販売単価の改定を行ったこと等により液卵売上高は前年同期比37.7%増の21,853百万円となりました。また、加工品売上高は、茶碗蒸しベースの販売増加等により同16.4%増の1,126百万円、その他売上高は同9.5%増の215百万円となりました。この結果、当セグメント合計の売上高は同36.1%増の23,195百万円となりました。

セグメント利益につきましては、2030年度の液卵の販売数量8万トン、業界でのシェア20%を目標に、製品の供給能力の増大のための積極的な設備投資を進めていることから減価償却費が143百万円増加し、また人的資本投資の強化に伴う人件費の増加等により、同9.3%減の2,117百万円となりました。

②調味料事業

当セグメントにおける主要な関係会社は、日本化工食品株式会社であります。

当セグメントの売上高につきましては、既存得意先への販売が減少したこともあり売上高は減収となりましたが、当第2四半期累計期間以降、健康食品向けの販売が好調に推移したこと等により減収幅は縮小し、前年同期比2.9%減の950百万円となりました。

セグメント利益につきましては、売上高の減少及び顆粒ライン増設工事に伴う減価償却費や修繕費の増加等により、同13.0%減の60百万円となりました。

③オーガニックEC事業

当セグメントにおける主要な関係会社は、HORIZON FARMS株式会社であります。

当セグメントの売上高につきましては、冷凍フルーツの販売が好調に推移したこと等により、663百万円となりました。

セグメント利益につきましては、のれんの償却額47百万円の計上、販売の増加及び作業の効率化のため新たに倉庫を賃借したことによる賃借料の増加、SNSの活用強化に伴う広告宣伝費の増加等により5百万円の損失となりました。

なお、前期につきましては、2024年7月から連結を開始し6か月間累計の数値となっているため、第3四半期連結累計期間における前年同期比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は20,121百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,372百万円増加しました。

流動資産は12,238百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,271百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加1,284百万円、原材料及び貯蔵品の増加435百万円、商品及び製品の増加400百万円等によるものであります。

固定資産は7,882百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,100百万円増加しました。主な要因は、機械装置及び運搬具の増加720百万円、建物及び構築物の増加349百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は7,989百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,401百万円増加しました。

流動負債は6,495百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,946百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加1,318百万円、短期借入金の増加1,069百万円、未払法人税等の減少336百万円等によるものであります。

固定負債は1,493百万円となり、前連結会計年度末に比べ455百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加461百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は12,131百万円となり、前連結会計年度末に比べ970百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,519百万円の計上等により利益剰余金が933百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期業績予想につきましては、業績は概ね順調に推移しており、2025年11月13日に公表した業績予想から変更はしておりません。

なお、足元の状況として、当期も鳥インフルエンザが多発しており、鶏卵相場や需給の動向が不透明であり、この状況は、鳥インフルエンザの問題が解決されない限り今後も継続していくものと考えております。

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後、開示すべき事項が発生した場合は速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,055	4,059
受取手形及び売掛金	3,911	5,196
商品及び製品	1,288	1,688
仕掛品	115	116
原材料及び貯蔵品	542	978
その他	66	211
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	9,967	12,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,968	2,317
機械装置及び運搬具（純額）	1,612	2,333
土地	1,857	1,857
リース資産（純額）	3	2
その他（純額）	597	664
有形固定資産合計	6,039	7,175
無形固定資産		
のれん	456	409
その他	9	12
無形固定資産合計	466	422
投資その他の資産		
投資有価証券	175	198
繰延税金資産	87	75
その他	14	12
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	276	285
固定資産合計	6,782	7,882
資産合計	16,749	20,121
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,191	2,509
短期借入金	1,160	2,229
1年内償還予定の社債	16	16
リース債務	1	1
未払法人税等	626	289
賞与引当金	195	167
その他	1,358	1,281
流動負債合計	4,549	6,495
固定負債		
社債	40	32
長期借入金	911	1,373
リース債務	2	1
その他	84	87
固定負債合計	1,038	1,493
負債合計	5,588	7,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	414	422
利益剰余金	10,523	11,456
自己株式	△297	△278
株主資本合計	11,096	12,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64	76
その他の包括利益累計額合計	64	76
純資産合計	11,161	12,131
負債純資産合計	16,749	20,121

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	18,394	24,762
売上原価	13,748	20,243
売上総利益	4,645	4,519
販売費及び一般管理費	2,257	2,347
営業利益	2,388	2,172
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	3	5
受取保険金	15	7
受取賃貸料	13	13
その他	27	16
営業外収益合計	60	47
営業外費用		
支払利息	13	20
営業外費用合計	13	20
経常利益	2,434	2,199
特別損失		
固定資産除売却損	19	0
特別損失合計	19	0
税金等調整前四半期純利益	2,415	2,199
法人税、住民税及び事業税	669	673
法人税等調整額	93	6
法人税等合計	762	679
四半期純利益	1,652	1,519
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,652	1,519

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,652	1,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	11
その他の包括利益合計	△2	11
四半期包括利益	1,649	1,530
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,649	1,530
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1、2	四半期連結 損益計算書 計上額
	液卵事業	調味料事業	オーガニック EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	17,037	926	430	18,394	—	18,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	53	—	53	△53	—
計	17,037	979	430	18,447	△53	18,394
セグメント利益	2,335	69	24	2,429	△41	2,388

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益の調整額△41百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△41百万円が含まれております。全社費用は、子会社株式の取得関連費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2024年7月31日付でHORIZON FARMS株式会社の全株式を取得いたしました。これにより、「オーガニックEC事業」セグメントにおいて、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの発生額は、503百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	液卵事業	調味料事業	オーガニック EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	23,195	903	663	24,762	—	24,762
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	46	—	46	△46	—
計	23,195	950	663	24,809	△46	24,762
セグメント利益又は損失(△)	2,117	60	△5	2,172	—	2,172

(注) セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	353百万円	502百万円
のれんの償却額	31百万円	47百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	液卵事業	調味料事業	オーガニックEC事業	
液卵	12,454	—	—	12,454
凍結卵	3,419	—	—	3,419
卵加工品	967	—	—	967
その他鶏卵関連	179	—	—	179
調味料	—	925	—	925
オーガニック商品	—	—	430	430
その他	17	0	—	18
顧客との契約から生じる収益	17,037	926	430	18,394
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	17,037	926	430	18,394

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	液卵事業	調味料事業	オーガニックEC事業	
液卵	18,443	—	—	18,443
凍結卵	3,410	—	—	3,410
卵加工品	1,126	—	—	1,126
その他鶏卵関連	197	—	—	197
調味料	—	903	—	903
オーガニック商品	—	—	663	663
その他	18	0	—	18
顧客との契約から生じる収益	23,195	903	663	24,762
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	23,195	903	663	24,762